

カルバペネマーゼ産生グラム陰性菌検出試薬

KBM CIM Tris II キット

グラム陰性菌のカルバペネム分解酵素（カルバペネマーゼ）の産生性検査がすぐに始められます。

CIM Tris II

短時間化

mCIM



Tris-HClバッファーに懸濁後、**1**時間反応 vs

TSBに懸濁後、4時間反応

CIM Tris II

適応菌種拡大

mCIM



腸内細菌科、*Pseudomonas*属、***Acinetobacter***属 vs

腸内細菌科、*Pseudomonas*属

CIM Tris II

接種菌量統一

mCIM



被検菌量**5μL統一** vs

被検菌量 腸内細菌1μL、緑膿菌10μL

カルバペネマーゼ
陽性



カルバペネマーゼ
陰性



ディスク周辺の阻止円直径が6-14mmであった場合
または、ディスク周囲の阻止円直径が15-18mmであり且つ阻止円内にサテライトコロニーを含む場合は、カルバペネマーゼ陽性と判断します

ディスク周辺の阻止円直径が15mm以上であり且つ阻止円内にサテライトコロニーを含まない場合は、カルバペネマーゼ陰性と判断します

製品コード	製品名	容量	定価（税別）	保管方法	有効期限
56510	KBM CIM Tris IIキット	10ディスク入	¥3,600	冷蔵	365 日
41090	“KBM”ミューラーヒントン寒天培地	10枚	¥1,400	冷蔵 (2-10℃)	120 日

KBM CIM Tris IIキット使用方法

- ① 付属のTris-HClバッファーを付属の滅菌マイクロチューブ400μL分注する
- ② 分注したTris-HClバッファーに、付属の5μLディスプレイを用いて被検菌を懸濁する
- ③ 滅菌針、またはピンセットでMEPM含有ディスクを取り出し、被検菌懸濁液中に添加する
- ④ フタをして、35℃ (±2℃) 孵卵器で1時間反応させる
- ⑤ 被検菌懸濁液中から、MEPM含有ディスクを取り出す。大腸菌(ATCC 25922)液を塗布した寒天培地にディスクを置き、培地にフタをして逆さにし、35℃ (±2℃) 孵卵器で18時間培養する

キット構成



内容	容量
メロペナムディスク	10枚/箱
Tris-HCl バッファー	5mL (1本) /箱
滅菌マイクロチューブ	10個/箱
5μLディスプレイ	10本/箱
使用説明書	1部

検査に必要な5μLディスプレイが付属されています

性能

	検査数 (*)	性能	CIM Tris II	vs	mCIM
腸内細菌科	80 (47/33)	感度	100	vs	100
		特異度	93.9		100
Pseudomonas属	57 (35/22)	感度	100	vs	65.7
		特異度	100		100
Acinetobacter属	95 (70/25)	感度	97.1	vs	25.7
		特異度	90.9		100
合計	232 (152/80)	感度	99.3	vs	67.1
		特異度	95.0		100

* 獲得型カルバペナム耐性遺伝子陽性株/獲得型カルバペナム耐性遺伝子陰性株。

Uechi K., et al. : An improved carbapenem inactivation method, CIMTrisII, for carbapenemase production by Gram-negative pathogens. J. Med. Microbiol. Vol.68(2):p124-131, 2019.